

令和4年度 事業報告

I 主要対応課題について

(1) 福利事業の再構築に伴う取組み

再構築した事業の周知活動を実施し、事業の浸透に注力した。主な実施事項は以下のとおりである。

- ・パンフレット「あたらしく生まれ変わった福利事業サービスのご案内」を制作し、全被共済職員に配布した。
- ・再編した事業を中心とした内容で、9月15日にオンライン方式の業務説明会を開催した。その後は「オンディマンド配信」を令和4年度末まで実施した。
- ・毎月の福利事業案内では、個別の新規事業に関し、きめ細かな周知に努めた。

(2) 年金資産の運用変更に関わる研究と協議

長引く厳しい運用環境を背景に、「ALM分析」の実施結果を踏まえ、中長期的に必要な収益を確保するための運用の在り方について、合計5回の資産運用委員会を開催して研究と協議を重ねた。その結果、以下の変更案を取りまとめ、理事会に提案し了承を得た。

- ・円ヘッジ付外国債券パッシブ運用の一部を解約し、オルタナティブ・クレジット商品を導入することとし、配分比率は全資産残高の7%に相当する額とする。
- ・導入にあたっては、資産の分散効果を高める目的により、ファンド単品を個々に契約するのではなく、パッケージ化された「ファンド・オブ・ファンズ（※）」方式を採用する。（※）複数のファンドをパッケージ化し、一つの商品としたファンドのこと。

(3) 個人情報取扱い業務に関わる取組み

本会が執り行う被共済職員に関わる事務作業に必要な「個人情報取扱いに関わる同意書」を、全被共済職員から取得すべく作業を進めた。令和4年度末時点で、ほぼ100%の取得となり、当初の目的を達成した。

(4) 「HKねっと」の機能拡充に関わる検討

共済制度運営委員会にて「HKねっと」を活用した各種帳票（退職一時金決定通知書等）の電子配信について協議を重ね、令和6年度からの実用化を目標に、令和5年度においてシステム改修等の作業を進めることとした。

II. 事業の実施状況について

1. 加入者管理

(1) 会員・施設団体の状況

会 員 数	項 目	令和3年度	令和4年度
	入 会	10	8
	退 会	-	2
	合 計	795	801

施 設 ・ 団 体 数	項 目	令和3年度	令和4年度
	新 設	61	25
	廃 止	14	17
	合 計	2,655	2,663

(2) 業種別データ

	保護施設	児童福祉施設	老人福祉施設	社会福祉 協 議 会	障害者総合 支援法関係	その他	合 計
施設・団体数	10	674	1,006	119	749	105	2,663
被 共 済 職 員 数	280	11,892	19,116	1,130	11,740	1,539	45,697

(3) 地域別データ

	札幌市	石狩	渡島	檜山	後志	空知	上川	留萌	宗谷	オホー ツク	胆振	日高	十勝	釧路	根室	道外	合 計
施設・団体数	613	163	220	39	166	236	335	50	49	137	299	60	178	85	21	12	2,663
被 共 済 職 員 数	13,392	2,729	3,631	444	2,898	3,559	5,173	570	673	2,349	3,921	780	3,147	1,719	271	441	45,697

(4) 被共済職員の加入、退職状況

年 度	加 入	退 職			被共済 職員数
		1年以上	1年未満	計	
令和3年度	5,612	4,293	892	5,185	45,415
令和4年度	5,750	4,532	936	5,468	45,697

(5) 出資金・掛金の収納

区 分		前年度末未収金額(円)	当年度請求額合計(円)	当年度入金額(円)	当年度末未収金額(円)	延べ請求職員数
出 資 金	会員分	368,968,710	4,575,726,770	4,567,531,930	377,163,550	549,105
	職員分	150,377,985	1,865,094,555	1,861,761,950	153,710,590	
	第2出資金	14,936,000	176,879,000	177,098,000	14,717,000	
	計	534,282,695	6,617,700,325	6,606,391,880	545,591,140	
掛 金	掛 金	58,141,020	721,157,760	719,855,640	59,443,140	